

ゴボウ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	黒 斑 細 菌 病	黒 斑 病	黒 核 病	黒 条 病	う ど ん こ 病	黒 あ ざ 病	ア ブ ラ ム シ 類	フ キ ノ メ イ ガ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ネ キ リ ム シ 類	ソ ウ ム シ 類	ネ グ サ レ セ ン チ ユ ウ	ネ コ ブ セ ン チ ユ ウ	
トリフミン水	DMI	3		1	3					◎									
ロブラール水	ジカホキミド <sup>®</sup>	2		3	3			◎											
トップジンM粉DL	ベンゾイミダゾール	1		7	3			◎											
リゾレックス粉	有機リン	14		*b	1					◎									
オーソサイド水80	他	M4		14	5		◎												
ダコニール1000FL	他	M5		1	5					◎									
フロンサイドSC	他	29		21	3				◎										
ユニフォーム粒	QoI・アミド	11・4		*b	1					◎									
カスミンボルドー水	抗生物質・無機	24・M1		14	3	◎													
ノーモルト乳	IGR	15		7	4											◎			
ビーラム粒	アミド			*d	1													◎	◎
バイデートL粒	カーバメート	1A	劇	*b	1													◎	◎
ネマトリンエース粒	殺線虫	1B		*b	1													◎	◎
ラグビーMC粒	殺線虫	1B		*b	1													◎	
アドマイヤーFL	ネニコチノイド <sup>®</sup>	4A	劇	7	2						◎								
アドマイヤー1粒	ネニコチノイド <sup>®</sup>	4A		*c	1						◎								
アグロスリン乳	ピレスロイド <sup>®</sup>	3A	劇	14	5						◎								
アディオン乳	ピレスロイド <sup>®</sup>	3A		7	5						◎		ヨ						
ガードベイトA粒	ピレスロイド <sup>®</sup>	3A		*a	5										◎				
フォース粒	ピレスロイド <sup>®</sup>	3A	劇	*c	1										◎				
オルトラン水	有機リン	1B		45	1						◎								
オルトラン粒	有機リン	1B		75	1						◎								
スミチオン乳*	有機リン	1B		14	2						◎	◎							
ダイアジノン粒5	有機リン	1B		*c	1										◎				
ネキリエースK粒	有機リン	1B		14	4										◎				
マラソン乳	有機リン	1B		7	5						◎								
アクセルFL	他	22B		1	3								◎			ヒ			
ウララDF	他	29		7	2						◎								
トランスフォームFL	他	4C		7	3						◎								
プレオFL	他	UN		7	2									◎					

\*:商品により適用害虫の登録内容が異なる。

\*a:播種時～生育初期 \*b:播種前 \*c:播種時 \*d:植付前  
 ヒ:ヒョウタンゾウムシ類 ヨ:ヨトウムシ

ゴ  
ボ  
ウ

## ゴボウ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
黒斑細菌病	生育期	<ul style="list-style-type: none"> <li>発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 Zボルドー(水)* 500倍 カスミンボルドー(水) 1000倍</li> </ul>	*野菜類での登録
黒斑病	播種前	<ul style="list-style-type: none"> <li>多発畑では連作を避ける。</li> </ul>	黒斑病は秋まきの幼苗期に多発しやすい。春まきでは収穫期に近い秋に発生する。
	発生期	<ul style="list-style-type: none"> <li>発生を見たら次の薬剤を散布する。 オーソサイド水和剤80 800倍</li> </ul>	
	収穫時	<ul style="list-style-type: none"> <li>発病茎葉は収穫時に集めて廃棄する。</li> </ul>	
うどんこ病	生育期	<ul style="list-style-type: none"> <li>発生を見たら次の薬剤を散布する。 トリフミン水和剤 1000倍</li> </ul>	
黒あざ病	播種前	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 土壌消毒を行う(土壌消毒の項参照)。</li> <li>2. 次の薬剤を全面土壌混和する。 リゾレックス粉剤 40kg/10a</li> </ol>	本病はリゾクトニア菌による。
アブラムシ類	生育期	<ul style="list-style-type: none"> <li>発生を見たら次の薬剤のいずれかを、葉裏によくかかるように散布する。 ウララDF 2000~4000倍 マラソン乳剤 2000~3000倍</li> </ul>	
ネキリムシ類	播種時から 生育初期	<ul style="list-style-type: none"> <li>次の薬剤を散布する。 ガードベイトA(粒) 3kg/10a</li> </ul>	
	生育期	<ul style="list-style-type: none"> <li>次の薬剤を株元に散布する。 ネキリエースK(粒) 3kg/10a</li> </ul>	
ゾウムシ類	生育期	<ul style="list-style-type: none"> <li>次の薬剤を散布する。 ノーモルト乳剤 1000倍</li> </ul>	
ネグサレセンチュウ・ネコブセンチュウ	播種前	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 作付予定地で、前作物に寄生があったところでは土壌消毒する(土壌消毒の項参照)。</li> <li>2. 次の薬剤を播種溝に土壌混和する。 ネマトリンエース粒剤 20kg/10a</li> </ol>	